# 西蓮社 (旧増上寺報恩蔵) 蔵嘉興版大蔵経目録データベース

公益財団法人東洋文庫 主幹研究員 會 谷 佳 光

#### はじめに

本データベースは、酉蓮社が所蔵する嘉興版大蔵経の悉皆調査に基づいて作成・整理した書誌情報をデータベース化したものである。

酉蓮社所蔵の嘉興蔵は、『大正新脩大蔵経』(以下「大正蔵」と称す)編纂の際、その底本・校本として、「増上寺報恩藏」の名で多くの経典が採録されたことで知られている。そこで、本データベースでは、酉蓮社本のうち大正蔵が底本・校本として採用した経典にスキャニングを行い、IIIF 化して書誌データとリンクさせた。また、本データベースとは別に、「『大正新脩大蔵経』底本・校本データベース」を構築し、大正蔵に収録される全経典の底本・校本を一覧化したデータベースを作成して、本データベースとリンクさせた。以下に、本データベースと関連する拙稿を挙げる。適宜ご参照いただきたい。

『酉蓮社 (旧三縁山増上寺山内寺院報恩蔵) 収蔵嘉興版大蔵経目録』(酉蓮社、2012年3月。http://doi.org/10.24739/00006484)

『旧三縁山増上寺山内寺院・報恩蔵酉蓮社志稿』(酉蓮社、2012 年 9 月。 http://doi.org /10.24739/00006483)

「「増上寺報恩蔵(酉蓮社)と『大正新脩大蔵経』の編纂」(『仏教史学研究』第 60 巻第 2 号、2018 年 3 月)

「『大正新脩大蔵経』の初版・再刊・普及版の刊行をめぐって」(『東洋文庫書報』第 51 号、2020 年 3 月。http://id.nii.ac.jp/1629/00007370/)

「『大正新脩大蔵経』の底本と校本―巻末「略符」・『大正新脩大蔵経勘同目録』・脚注の分析を通して」(東洋文庫リポジトリ ERNEST 2019 年度科学研究費補助金 研究成果、2020年3月。http://id.nii.ac.jp/1629/00007257/)

最後に、酉蓮社本の悉皆調査、およびスキャニングによる画像データ作成にあたっては、酉蓮社の青木照憲住職、細川聡洋副住職にひとかたならぬご協力を賜った。また、本目録のデータベース化にあたっては、東京大学情報基盤センター助教の中村覚氏に、システム開発、酉蓮社本の画像の IIIF 化などを実施いただき、全面的にご支援いただいた。ここに記して、深甚の謝意を表したい。

本データベースは、JSPS 科研費 18K00073 の助成を受けたものである。

# 凡 例

## 【所 在】

現在の酉蓮社における収蔵場所を表します。「書名目録」をクリックするか、ご覧になりたい連・箱・函をクリックしてから「詳細目録」に切り替えてご利用ください。

項目名	説明	例
連	酉蓮社の収蔵場所の区画(1~7)を表す。	3
箱	箱の通し番号 (001~111) を表す。1 連に 16 箱	03
	を納める(第7連のみ 15 箱)。	15
函	函の通し番号(001~333)を表す。1 箱は3段	022
	に分かれ、1段につき1函ずつ納める。	139
存/完(册)	「現在の酉蓮社における収蔵場所」において、	10/10
	各函の収録冊数を「現存冊数/完存する場合の	5/6
	冊数」の形で表す。10冊すべてそろっている場	0/?
	合は「10/10」、6 冊中 1 冊を欠く場合は「5/6」	
	と表示する。冊数が不明の場合は「?」とする。	

#### 【書名目録】

酉蓮社本の書名目録です。もっと詳しい情報をご覧になりたい方は、「詳細目録」に切り替えてください。連・箱・箱を選択し直したい方は、「所在」に切り替えてください。

項目名	説明	例
分類	分類を表す。	經 大乘經 般若部
		經 小乘經 阿含部
		律 大乘律
		論 小乘論
		大明續入藏所集
		續藏
		又續藏
函册	函の通し番号と、函内の冊の順序を「-」で結	113-07
	んで表す。なお、函は通番であるが、冊は上	114-01~117-10
	下に分かれているもの(例:(1)、(2))や欠	153-10(闕)
	冊があるため、必ずしも通し番号ではない。	$176-05 \sim 176-06(176-$
	複数の函冊にまたがる経典の場合は、最初の	06 闕)
	函冊と最後の函冊を「~」でつないで表す。	
	欠冊がある場合は、「(闕)」で表す。	

經番	『昭和法宝総目録』第2巻所収『大明三藏聖	U1243
	教北藏目録』に付された通し番号に対して、	U1613(重複)
	酉蓮社本を表す「U」を冠したもの。本 DB	U續 123
	では、別立てしている経典に同一番号を割り	U 又續 022
	振ったもの、順番が錯綜しているもの、重複	U
	して所蔵されるものもあるため、個体番号で	
	も通し番号でもない。	
通番	酉蓮社本の各経典に付した通し番号を表す。	0001
	正蔵、続蔵、又続蔵の別なく一貫する、各経	1256
	典の個体番号(0001~2084)として設定し	2084
	た。	
經典名稱・卷數	経典名称・巻数・附録などの基本情報を、「経	佛説八吉祥經1卷
	典名+巻数+附録」の形で記載した。	佛説盂蘭盆經 1 卷坿校
		譌音釋
		佛説得道梯隥錫杖經 1
		卷坿持錫杖法1卷
譯著者	経典の訳著者を「朝代+姓名+譯著の別」の	唐釋玄奘譯
	形で記載した。訳著の役割分担が異なる著者	天親菩薩造, 北魏菩提
	を列記する場合は「, 」でつないで示し、役	留支譯
	割分担が同じ著者を並列で表す場合は「・」	北魏菩提留支·曇林等譯
	で示す。朝代が不明な場合、および姓名の一	
	部に不明な部分がある場合は「□」、姓名がと	
	もに不明の場合は「闕名」と記載した。	
版式	経典の版面構成の特徴を記載した。版式が嘉	定型
	興蔵の定型の版式(雙邊 有界 10 行 20 字な	單邊 有界8行17字 單
	ど) と一致する場合は単に「定型」と記載し、	白魚尾白口 句點
	定型と異なる版式の場合は異なる箇所を記	
	載した。	
刊記	経典の巻末等に刊年を記した刊記・識語等が	萬暦 26 年刊
	ある場合、「元号+幾年刊」の形で記載した。	萬暦 44・45 年, 天啓 6
	刊年が記載されていない場合は「不明年刊」	年刊
	と記載し、印刷の不鮮明等の理由により、刊	不明年刊
	年に不明な箇所がある場合は「□」で表す。	□□5 年刊
		□□□□刊

備考	破損・落丁・補刻刊記など重要な補足事項が	卷上 1-11 丁大破
	ある場合に記載した。	卷十15丁以下闕
		卷一 15 丁, 丁巳恒瑞重
		刊
寸法	各経典の第一巻巻頭の匡郭の右辺・上辺を計	22.7×14.9 cm(卷一1a)
	測した数値(単位cm)と、その計測箇所を記	
	載した。	
寸法 (備考)	破損・欠落等以外の理由(異書同巻・附録な	華嚴原人論 23.1×
	ど)で第一巻巻頭以外の寸法を計測した場合	14.9cm(5a)
	に記載した。	卷四 23.0×14.9cm(1a)
		二筆 21.4×14.1cm(1a),
		三筆 21.6×14.0cm(1a)
大正藏採録状況	大正蔵で酉蓮社本(「増上寺報恩蔵蔵本」)も	T0001 校本(明本)
(1)	しくは「明本」が用いられている場合、「大正	T0874底本(増上寺報恩
	蔵の経典番号+底本/校本+(テキスト)」の	蔵蔵本)
	形で表示した。本 DB 上で、これをクリック	T1909校本(増上寺報恩
	すると、『『大正新脩大蔵経』底本・校本デー	蔵蔵本)
	タベース」の該当箇所を表示することができ	
	る。	
大正藏採録状況	酉蓮社本に対応する大正蔵が 2 つある場合	
(2)	に2つ目のものを表示する。	
大正藏採録状況	酉蓮社本に対応する大正蔵が 2 つある場合	
(3)	に3つ目のものを表示する。	
大正藏採録状況	酉蓮社本に対応する大正蔵が 2 つある場合	
(4)	に4つ目のものを表示する。	

## 【詳細目録】

酉蓮社本の詳細目録です。さらに詳細な情報(項目名に「\*」が付いているもの)をご覧になりたい方は、「more」欄の「▶」をクリックしてください。書名のリストをご覧になりたい方は、「書名目録」に切り替えてご利用ください。連・箱・箱を選択し直したい方は、「所在」に切り替えてください。

項目名	説明	例
分類(1)*	分類の第1項目を表す。經・律・論・西土賢	省略
	聖撰集・此土撰述・大明續入藏諸集・北藏缺	
	南藏函號附・續藏・又續藏からなる。	
分類(2)*	分類の第2項目を表す。大乘經・小乘經・宋	
	元入藏諸大小乘經·宋元入藏諸大小乘經之餘·	
	大乘率・小乘律・大乘論・小乘論・宋元續入	
	藏緒論からなる。分類(2)がない項目もある。	
分類(3)*	分類の第3項目を表す。分類(3)があるのは、	
	「分類 2」の大乘經・小乘經のみ。	
連	酉蓮社の収蔵場所の区画(1~7)を表す。	3
箱	箱の通し番号 (01~111) を表す。	15
段	各箱の何段目に収蔵されるか(1~3)を表す。	1
₩	各段の何冊目に収蔵されるかを表す(01~	11
	16)。	
闕	西蓮社本に欠けている(存在しない)ことを	闕
	表す。「闕」は酉蓮社本のみの欠落、「原闕」	原闕
	は他本にももともと存在しないもの、「原闕	原闕か
	か」は他本にももともと存在しない疑いのあ	
	るものを表す。	
函册次	該当レコードが第何函の第何冊にあたるかを	001-01
	表す。原則、「表紙の函次(書入)」によるが、	333-04
	これがない場合は「表紙等(備考)」「函(通番)」	054-05(1)
	「段」によって記載した。「函-冊」の形で記載	054-05(2)
	し、1 冊が上下冊に分けられている場合は末	
	尾に(1)(2)を付した。	
表紙の函次(書	表紙に書き入れられた函册次を記載した。	壹函之一
入)*		
表紙等 (備考) *	表紙・裏表紙・書背・書根に見える書き入れ	「四十三函」と朱書す
	等の特記事項を記載した。	裏表紙闕

Γ		
函 (種別通番)*	正藏(正 001~210)・續藏(續 01~90)・又續藏	正 001
	(又續 01~33)別の函の通し番号を表す。	續 01
		又續 01
函(通番)*	函の通し番号(001~333)を表す。正藏・續藏・	326
	又續藏は区別しない。	
經番	『昭和法宝総目録』第2巻所収『大明三藏聖	U1243
	教北藏目録』に付された通し番号に対して、	U1613(重複)
	酉蓮社本を表す「U」を冠したもの。本 DB で	U 續 123
	は、別立てしている経典に同一番号を割り振	U 又續 022
	ったもの、順番が錯綜しているもの、重複し	U
	て所蔵されるものもあるため、個体番号でも	
	通し番号でもない。	
通番	酉蓮社本の各経典に付した通し番号を表す。	0001
	正蔵、続蔵、又続蔵の別なく一貫する、各経	1256
	典の個体番号 (0001~2084) として設定した。	2084
枝番	同じ通番内の何番目のレコード(1~最大	1
	618) かを表す。	618
寸法(1)*	各経典の第一巻巻頭の匡郭の右辺を計測した	22.7
	数値(単位cm)を記載した。	
寸法(2)*	各経典の第一巻巻頭の匡郭の上辺を計測した	14.9
	数値(単位cm)を記載した。	
計測箇所(1)*	寸法の計測箇所のうち巻次(内容)を記載し	卷一
	た。	
計測箇所(2)*	寸法の計測箇所のうち丁数・表裏 (ab) を記	1a
	載した。	
題簽*	題簽の有無、特徴を記載した。単に「有」と	有
	ある場合は刷題簽 (印刷された題簽) を表し、	書貼(青)
	刷題簽と同じ青色の料紙に枠のみ印刷し、書	有(上半闕)
	名等を書き込んだものは「書貼(青)」と表記	
	した。その他形状等がわかるように記載し、	
	   破損状況等は「( )」で注記した。	
題簽(備考)*	題簽にかかわる特記事項を記載した。刷題簽	刷題簽ハガレ
	が表紙から剥がれている、題簽が入れ違って	題簽中部に墨筆「一之
	   貼られている、刷題簽に書入がある、刷題簽	十」
	   と同様の装訂で正方形の收録經典リストが貼	収録経典リストあり
	られている等。	
		I

千字文は、経典の並び順を著す漢字一字と序 教嗣(1~11)の組み合わせで構成される。嘉興 歳では、版心下部、まれに巻頭・巻尾に記さ れる。 「千字文」欄は、版心の記載を最優先して採 録した。版心に記載がない、または破損など で確認できない場合は、刷題簽に中字された 千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。 版心下部が墨丁(未刻)の場合や破損してい る場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。 版心の表裏両面にわたって印刷される場合は「「千字文+半角数字」(「/」は改行を表す)、要面にのみ印刷される場合は「「千字文+半角数字」を表面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」を表面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 版心千字文「臨九」 版治下部墨丁 題簽千字文「履」 を典の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668 の黄檗山断際神師体心法要と黄檗山 断際禪師宛陵録など)。  経典名稱(「経典名稱」網にかかわる備考として、「経典 版心題「華嚴經普賢行 類品」 と所述る解と、題簽題・版心題等を記載 を頭書名「廣弘明集歸 正篇序」 題簽題「妙法蓮華經玄 簽 の責名なし 巻にまって卷頭書名異 なる。目次題による			
職では、版心下部、まれに答頭・巻尾に記される。 「千字文」欄は、版心の記載を最優先して採録した。版心に記載がない、または破損などで確認できない場合は、刷題簽に印字された千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。版心下部が基丁(未刻)の場合や破損している場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。版心の表裏両面にわたって印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「十字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「十字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「十字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「十字文+半角数字」、表面に手文文、裏面に序数詞が印刷される場合は「「十字文/半角数字」のように記載した。「千字文が墨丁の場合は「■」、「千字文がない場合は「×」と記載した。「下字文「臨九」版心下部墨丁」 題簽千字文「履」 「十字文」欄の採録根拠等を記載した。「版心千字文「臨九」版心下部墨」 「超楽千字文「履」を乗名稱 「経典の名称を記載した。「「十字文」「を入事、「大字文」「を入事、「大字文」「を入事、「大字文」「を入事、「大字文」「を入事、「大字文」「を入事、「大字文」「を入事、「大字文」「を入事、「大字文」「大字文」「大字文」「大字文」「大字文」「大字文」「大字文」「大字文」	千字文	千字文は、経典の並び順を著す漢字一字と序	天1
れる。 「千字文」欄は、版心の記載を最優先して採録した。版心に記載がない、または破損などで確認できない場合は、刷題簽に印字された千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。版心下部が墨丁(未刻)の場合や破損している場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。版心の表集両面にわたって印刷される場合は「千字文+半角数字」表面にのみ印刷される場合は「「千字文+半角数字」表面にのみ印刷される場合は「「「一字文十半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文・半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「「「一字文・十年数字」、表面に千字文・裏面に序数詞が印刷される場合は「「「「中字文・十年数字」」、表面に千字文・裏面に序数詞が印刷される場合は「「「「中字文・「本」」」、「中字文がない場合は「「「」」、「中字文がない場合は「「」」、「中字文がない場合は「「」」、「中字文がない場合は「「」」、「中字文がない場合は「本」」、「「「本」」、「中字文」「臨九」版心下部墨丁屋簽千字文「履」を明生の一下部墨丁屋簽千字文「履」を明生の一下部墨丁屋簽千字文「履」を明生の一下部墨丁屋、「一下部墨丁屋、「一下部墨」「「一下部墨」「「一下部墨」「「一下部墨」「「一下部墨」「「一下部墨」「「一下部」」「「一下部」「「一下部」「「一下部」「「一下部」「「一下部」「「一下部」」「「一下部」「「一下部」「「一下部」「「一下部」「「一下部」」「「一下部」「「一下部」「「一下部」「「一下部」」「「一下部」「「一下部」「「一下部」「「一下部」」「「一下部」「「一下部」」「「一下部」「「一下部」」「「一下)」「「一下部」」「「一下)」」「「一下)」」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下)」「「一下		数詞(1~11)の組み合わせで構成される。嘉興	天 1/
「千字文」欄は、版心の記載を最優先して採録した。版心に記載がない、または破損などで確認できない場合は、刷題簽に印字された千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。版心下部が墨丁(未刻)の場合や破損している場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1冊分すべてこれによって記載した。版心の表裏両面にわたって印刷される場合は「千字文+半角数字」表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字」表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、千字文がない場合は「×」と記載した。「千字文がない場合は「×」と記載した。「千字文「幅九」版心下部墨丁、服後千字文「履」標記千字文「履」を映名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、應則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番1668の黄檗山鰤際禪師傳心法要と黄紫山」、「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典版心理「華嚴經普賢行養別、した。」と、「一方」、「一方」、「一方」、「一方」、「一方」、「一方」、「一方」、「一方」		藏では、版心下部、まれに巻頭・巻尾に記さ	/天 1
録した。版心に記載がない、または破損などで確認できない場合は、刷題簽に印字された千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。版心下部が墨丁(未刻)の場合や破損している場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。版心の表裏両面にわたって印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、千字文がない場合は「×」と記載した。「千字文「臨九」版心下部墨丁、題簽千字文「履」祭典名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番1668の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師宛陵録など)。 経典名稱(備「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典概經音賢行務)* 名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。「華嚴經普賢行務」と、		れる。	天/1
で確認できない場合は、刷題簽に印字された 千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。 版心下部が墨丁(未刻)の場合や破損してい る場合において、刷題簽に千字文が印刷され ていれば、1 冊分すべてこれによって記載し た。 版心の表裏両面にわたって印刷される場合は 「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面に呼数詞 が印刷される場合は「千字文、裏面に序数詞 が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」「臨九」 版心下部墨丁 題簽千字文「履」 概心下部墨丁 を一方で文「臨九」 を一方で文「臨九」 を一方で文「臨九」 を一方で文「臨九」 を一方で文「臨九」 を一方で文「臨九」 を一方で表面と の一方で表面と の一方で表		「千字文」欄は、版心の記載を最優先して採	
千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。 版心下部が墨丁(未刻)の場合や破損している場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。 版心の表裏両面にわたって印刷される場合は 「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「千字文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数同が印刷される場合は「千字文・裏面に序数同が印刷される場合は「千字文・裏面に序数同が印刷される場合は「千字文・裏面に序数同が印刷される場合は「本」」、「千字文がない場合は「本」」、「千字文がない場合は「本」と記載した。「「千字文」欄の採録根拠等を記載した。「「千字文」欄の採録根拠等を記載した。「「千字文」欄の採録根拠等を記載した。「「千字文」欄の採録根拠等を記載した。「「経典名稱」欄の採録を記載した。「「経典名稱」欄にかかわる備考として、「経典名稱」欄にかかわる備考として、「経典名稱」欄にかかわる備考として、「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。  「経典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。  「超典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  「超典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  「超典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  「超典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  「超典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  「超過程度音響音を記載 と表述を記載とて、「経典音音を記載と表述を記載と表述を記載と表述を記載と表述を記載とない。  「本述を記載といる。」  「を記載を記載を記載といる。」  「を記載を記載を記載を記載を記載を記載を記載を記載を記載を記載を記載を記載を記載を		録した。版心に記載がない、または破損など	×
版心下部が墨丁 (未刻) の場合や破損している場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。 版心の表裏両面にわたって印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文が墨丁の場合は「■」、「千字文がない場合は「×」と記載した。「千字文が基丁の場合は「■」、「千字文がない場合は「×」と記載した。「千字文「個」」、「千字文がない場合は「×」と記載した。「千字文「個」」、「千字文」欄の採録根拠等を記載した。「「千字文」欄の採録根拠等を記載した。「「千字文」欄の採録根拠等を記載した。「「千字文」欄の採録根拠等を記載とた。「「千字文」欄の採録根拠等を記載とた。「「千字文」欄の採録根拠等を記載とた。「「経典名稱」欄の経過をを記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師宛陵録など)。「経典名稱」欄にかかわる備考として、「経典協問。」「経典名稱」欄にかかわる備考として、「経典協問。」「経典名稱」欄にかかわる備考として、「経典協同」を頭書名「廣弘明集歸正篇序」題簽題「妙法蓮華經玄後」,版心題「妙玄後」卷頭書名「廣弘明集歸正篇序」題簽題「妙法蓮華經玄後」,版心題「妙玄後」卷頭書名「廣弘明集歸正篇序」題簽題「妙法蓮華經玄後」,版心題「妙玄後」卷頭書名」		で確認できない場合は、刷題簽に印字された	南履/北臨
る場合において、刷題簽に千字文が印刷されていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。 版心の表裏両面にわたって印刷される場合は「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字」、裏面にのみ印刷される場合は「「千字文+半角数字」、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文(備考)* 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「千字文「臨九」版心下部墨丁題簽千字文「履」 を典名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番1668の黄檗山斷際禪師免除録など)。 「經典名稱(構著)1668の黄檗山斷除禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師免除録など)。 「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。 「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。 「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。 「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。  参頭書名「廣弘明集歸正篇序」題簽題「炒法蓮華經玄簽」,版心題「炒玄簽」卷頭書名なし卷によって卷頭書名異		千字文、巻頭・巻尾の千字文の順に採録した。	
ていれば、1 冊分すべてこれによって記載した。 版心の表裏両面にわたって印刷される場合は 「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「「一字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。「千字文が墨丁の場合は「■」、「「一字文がない場合は「「メ」と記載した。「「一字文がない場合は「「「「」」、「「「一字文がない場合は「「「「「」」、「「「一字文がない場合は「「「」」、「「「一字文がない場合は「「「」」、「「「一字文がない場合は「「」」、「「「一字文」「「「「一字文」「「「「「「「「「「」」」」、「「「「「「「」」」」、「「「「「「「」」」」」、「「「「「「		版心下部が墨丁(未刻)の場合や破損してい	
た。 版心の表裏両面にわたって印刷される場合は 「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される 場合は「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「「千字 支+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞 が印刷される場合は「千字文/半角数字」のよ うに記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。  「千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文「欄の採録根拠等を記載した。 版心千字文「臨九」版心下部墨丁 題簽千字文「履」 を典名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、 原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668 の黄檗山断際禪師傳心法要と黄檗山 断際禪師宛陵録など)。  經典名稱(備 「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典 版心題「華嚴經普賢行名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 正篇序」 題簽題「妙法蓮華經玄簽」,版心題「妙玄簽」卷頭書名なし 卷によって卷頭書名異		る場合において、刷題簽に千字文が印刷され	
版心の表裏両面にわたって印刷される場合は 「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される 場合は「千字文+半角数字」(「/」は改行を 表す)、裏面にのみ印刷される場合は「/千字 文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞 が印刷される場合は「千字文/半角数字」のよ うに記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。  「千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文「幅九」 版心下部墨丁 題簽千字文「履」 の表で記載した。同じ通番の経典は、 原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668の黄檗山断際禪師傳心法要と黄檗山 断際禪師宛陵録など)。  經典名稱(備 「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典 版心題「華嚴經普賢行 名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  「經典名稱」概。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」概。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」概。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」概。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」概。 「經典名稱」概。 「經典名稱」欄。 「經典名稱」概。 「經典名稱」 「經典名稱」概。 「經典名稱」 「經典名稱」概。 「經典名稱」 「經典名稱」概。 「經典名稱」概。 「經典名稱」概。 「經典名稱」 「經典名稱」概。 「經典名稱」概。 「經典名稱」概。 「經典名稱」 「經典名稱」概。 「經典名稱」 「經典名稱」概。 「經典名稱」概。 「經典名稱」 「經典名表述 「經典名稱」 「經典表書 「經典表述,經典表述, 「經典表述,經典表述,經典表述, 「經典表述,經典表述,經典表述, 「經典表述,經典表述,經典表述, 「經典表述,經典表述,經典表述,經典表述,經典表述,經典表述,經典表述,經典表述,		ていれば、1 冊分すべてこれによって記載し	
「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される場合は「千字文+半角数字」(「/」は改行を表す)、裏面にのみ印刷される場合は「/千字文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 「一字文」欄の採録根拠等を記載した。「版心下字文「臨九」版心下部墨丁題簽千字文「履」を発生の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通者1668の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師完陵録など)。 「經典名稱(備者1668の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山」所心題「華嚴經普賢行名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。 「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。「經典者別、版心題「華嚴經普賢行名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載原品」を頭書名「廣弘明集歸正篇序」題簽題「妙法蓮華經玄籤」,版心題「妙玄籤」を頭書名なし、後によって卷頭書名異		た。	
場合は「千字文+半角数字/」(「/」は改行を表す)、裏面にのみ印刷される場合は「/千字文+半角数字」。表面に「字文)裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、千字文がない場合は「×」と記載した。 「千字文がない場合は「×」と記載した。「千字文「臨九」版心下部墨丁題簽千字文「履」経典名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番 1668の黄檗山斷際禪師傅心法要と黄檗山斷際禪師宛陵録など)。		版心の表裏両面にわたって印刷される場合は	
表す)、裏面にのみ印刷される場合は「/千字 文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞 が印刷される場合は「千字文/半角数字」のよ うに記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。  「千字文」欄の採録根拠等を記載した。  版心千字文「臨九」版心下部墨丁 題簽千字文「履」  經典名稱  経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、 原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番1668の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師宛陵録など)。  經典名稱(備「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典版心題「華嚴經普賢行名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。  近題「華嚴經普賢行額品」 した。  遊頭書名「廣弘明集歸正篇序」 題簽題「妙法蓮華經玄籤」,版心題「妙玄籤」卷頭書名なし		「千字文+半角数字」、表面にのみ印刷される	
文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。  「千字文」欄の採録根拠等を記載した。  「千字文」欄の採録根拠等を記載した。  「千字文「臨九」版心下部墨丁題簽千字文「履」  経典名稱  経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番1668の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師宛陵録など)。  経典名稱(備不過失為者として、「經典格別欄にかかわる備考として、「經典格別欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。  「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。  を頭書名「廣弘明集歸正篇序」題簽題「妙法蓮華經玄簽」,版心題「妙玄籤」卷頭書名なし、卷によって卷頭書名異		場合は「千字文+半角数字/」(「/」は改行を	
が印刷される場合は「千字文/半角数字」のように記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。  「千字文」欄の採録根拠等を記載した。  「千字文」欄の採録根拠等を記載した。  「一字文」欄の採録根拠等を記載した。  「一方字文」欄の採録根拠等を記載した。  「一方字文」欄の採録根拠等を記載した。  「一方字文」「臨九」  「版心下部墨丁  題簽千字文「履」  「概義子字文「履」  「「現典名称を記載した。同じ通番の経典は、 「原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山  「「の表別、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 ・「「の表別、「一方で表別で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別、「一方で表別で表別で、「一方で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で、「一方で表別で表別で表別しましまします。「一方で表別で表別で表別します		表す)、裏面にのみ印刷される場合は「/千字	
うに記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、 千字文がない場合は「×」と記載した。  「千字文」欄の採録根拠等を記載した。  版心千字文「臨九」版心下部墨丁 題簽千字文「履」  經典名稱  経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、 原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山 斷際禪師宛陵録など)。  歴典名稱(備 考)*  「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典 名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載 した。  版心題「華嚴經普賢行 願品」 を頭書名「廣弘明集歸 正篇序」 題簽題「妙法蓮華經玄 籤」,版心題「妙玄籤」 卷頭書名なし 卷によって卷頭書名異		文+半角数字」、表面に千字文、裏面に序数詞	
千字文がない場合は「×」と記載した。     「千字文」欄の採録根拠等を記載した。     版心千字文「臨九」版心下部墨丁題簽千字文「履」      經典名稱     経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番1668の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山斷際禪師宛陵録など)。      経典名稱(備不經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。      も確認の意理を言意を表し、      ちの遺野・版心題等を記載した。      もの題「華嚴經普賢行額品」      ちの遺野・版心題等を記載した。      ちの遺野・版心題等を記載した。      ちの遺野・版心題等を記載した。      ちの遺野・版心題等を記載した。      ちの遺野・版心題等を記載した。      ちの遺野・版心題等を記載した。      ちの遺野・版い題「華嚴経普賢行額」を表現・版心題「がま運業経本を表現・版い題」が表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・版いとは、表現・表現・表現・表現・表現・表現・表現・表現・表現・表現・表現・表現・表現・表		が印刷される場合は「千字文/半角数字」のよ	
千字文(備考)* 「千字文」欄の採録根拠等を記載した。 版心千字文「臨九」版心下部墨丁 題簽千字文「履」 経典名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山 断際禪師宛陵録など)。  經典名稱(「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典                 版心題「華嚴經普賢行		うに記載した。千字文が墨丁の場合は「■」、	
腰央名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、 原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通		千字文がない場合は「×」と記載した。	
題簽千字文「履」 経典名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、 原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山 斷際禪師宛陵録など)。	千字文(備考)*	「千字文」欄の採録根拠等を記載した。	版心千字文「臨九」
経典名稱 経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、 原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通 番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山 断際禪師宛陵録など)。			版心下部墨丁
原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山 斷際禪師宛陵録など)。  經典名稱(備 「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典 版心題「華嚴經普賢行名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載した。  とた。  を頭書名「廣弘明集歸正篇序」 題簽題「妙法蓮華經玄籤」,版心題「妙玄籤」 卷頭書名なし 卷によって卷頭書名異			題簽千字文「履」
番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山	經典名稱	経典の名称を記載した。同じ通番の経典は、	佛説盂蘭盆經
		原則、同じ名称となるが、例外も若干ある(通	佛説得道梯隥錫杖經
經典名稱(備 「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典 版心題「華嚴經普賢行 名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載		番 1668 の黄檗山斷際禪師傳心法要と黄檗山	
考)* 名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載			
した。	經典名稱(備	「經典名稱」欄にかかわる備考として、「經典	版心題「華嚴經普賢行
正篇序」 題簽題「妙法蓮華經玄 籤」,版心題「妙玄籤」 卷頭書名なし 卷によって卷頭書名異	考)*	名稱」欄の根拠や、題簽題・版心題等を記載	願品」
題簽題「妙法蓮華經玄 籤」,版心題「妙玄籤」 卷頭書名なし 卷によって卷頭書名異		した。	卷頭書名「廣弘明集歸
籤」,版心題「妙玄籤」 卷頭書名なし 卷によって卷頭書名異			正篇序」
巻頭書名なし 卷によって巻頭書名異			題簽題「妙法蓮華經玄
卷によって卷頭書名異			籤」,版心題「妙玄籤」
			卷頭書名なし
なる. 目次題による			卷によって卷頭書名異
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			なる. 目次題による

卷次等	巻次・序跋・附録(音釋・校譌を除く)等を	1
	記載した。「卷第一」は「1」、「卷第一之一」	上
	は「1(1)」、「卷第一之上」は「1(上)」のよう	1(1)
	に記載した。	○○序
		□□跋
卷次等(根拠)*	「卷次等」欄を卷頭以外の部分より採録した	「目録」は版心による
	場合に、その根拠を記載した。	「後序」は版心による
卷次等(備考)*	「巻次等」欄にかかわる特記事項(欠巻、巻	卷一闕
	単位での順序の顛倒、版心に刻される巻次が	卷上下顛倒
	異なる場合等)を記載した。	題簽卷次「一之五」
		版心「卷四」
		卷頭卷次「三十二」之
		「二」字闕落
卷次等(譯著	「卷次等」欄の譯著者を記載した。	唐釋宗密撰集
者)*		卷によって編者異なる
丁數	最初の丁と最後の丁を「-」で結んで記載した。	1a
	最初の丁が表から始まる場合は単に「1」とし、	3b
	裏から始まる場合は「1 b」と記載した。最後	1-22b
	の丁は必ず表か裏かを「a」「b」で記載した。	3b-5a
	1丁のみ場合は「1a」「1b」「1ab」で記載した。	
丁數(備考)*	丁の破損・欠落・錯丁・又丁(例えば「三十」	21 丁闕
	丁の次に「又三十」丁がある場合)・補鈔等を	1-15 丁破損大
	記載した。	20・21 丁顛倒
		27 丁補鈔
		14 丁丁附「又十三」
本文(備考)*	本文中に見られる特記事項のうち印刷されて	U1224 卷下題下に「略
	いるものを記載した。	明般若末/後一頌讚述
		附」とあり
		21丁本文にまま墨丁あ
		b
		23a に圖あり
		26b 末題不鮮明
本文(書入等)*	本文中に見られる特記事項のうち書き入れに	墨點
	よるものを記載した。	16b に朱筆書入あり
		注記・校記を記した紙
		片の貼附多數
-		

匡郭の形状(異	匡郭の形状が定型(雙邊)と異なる場合に初	單邊
版のみ)*	出の巻において記載した。なお、雙邊であっ	左右雙邊
	ても定型と形状が異なる場合は記載した。	波形邊
界線·行款(異版	界線・行款が定型(有界10行20字)と異な	無界 10 行 20 字
のみ)*	る場合に初出の巻において記載した。	無界 10 行 21 字
		有界 8 行 17 字
		有界 11 行 21 字
版心(異版の	版心が定型(無魚尾白口)と異なる場合に初	單魚尾上白口下白口
み)*	出の巻において記載した。	單白魚尾白口
		雙魚尾小黒口
		無魚尾線黒口
版心(補刻記	版心に補刻記・助刻者名等が印刷されている	3・4 丁版心中下間「康
等)*	場合に記載した。	熙九年重刊」
		この經, 版心中下間に
		「信士汪廣刻」等助刻
		者名あり
版心(備考)*	版心に「版心 (補刻記等)」欄以外の特記事項	版心上部墨丁
	がある場合に記載した。	版心上部「善信/撰述」
		1a版心下部に刻工名あ
		b
附點・首書・科	点の有無・種類や、首書・科文等版式にかか	句點, 傍點
文等*	わる特記事項がある場合に記載した。なお、	句四聲點
	嘉興蔵の定型は無点であるが、他の版式が嘉	首書
	興蔵の定型と異なる場合には無点であっても	科文
	記載した。	
卷末附録(1)	巻末に校譌・音釋の類の附録物がある場合に	校譌
	記載した。	音釋
卷末附録(2)	巻末に校譌・音釋の類の附録物の2つ目があ	〈音/釋〉
	る場合に記載した。	存疑
卷末附録(3)	巻末に校譌・音釋の類の附録物の3つ目があ	
	る場合に記載した。	
卷末附録(4)	巻末に校譌・音釋の類の附録物の4つ目があ	
	る場合に記載した。	
卷末附録(備	校譌・音釋等が題のみであったり、墨丁が含	音釋題のみ
考)*	まれる場合等に記載した。	音釋墨丁多し
		   校譌注文墨丁
L	I	l

刊記	経典の巻末に刊記・識語等がある場合、「元号	萬暦己丑刊
	+幾年刊」の形で記載した。原文が干支で記	乙巳刊 (無枠)
	載されている場合は干支で記載した。刊年が	□□辛丑刊
	記載されていない場合は「不明年刊」と記載	□□□□刊
	し、印刷不鮮明等の理由により、刊年に不明	不明年刊
	な箇所がある場合は「□」で記載した。嘉興	
	蔵の刊記には普通枠があるが、枠がない場合	
	は末尾に「(無枠)」と付記した。	
刊記(西暦年)*	「刊記」欄の刊年の西暦年を記載した。	1559
刊記(備考)*	巻末の刊記が不鮮明な場合や、誤字、墨丁、	不鮮明
	破損箇所等がある場合、刊記後に刻字數・出	墨丁あり
	版経費に関する注記等がある場合、巻末に助	一部破損
	刻芳名・蔵版記等がある場合に記載した。	刊記後に刻字數・出版
		費の注記あり
		助刻芳名
		末「板存嘉興府楞/嚴寺
		經坊流通」
卷末墨丁*	巻末に墨丁がある場合に記載した。	墨丁
卷末墨丁(所	卷末墨丁の所在を記載した。	音釋前
在)*		校譌後
		卷末
		刊記前
		刊記後
圖像	巻首・巻尾に圖像がある場合に記載した。圖	釋迦二比丘像①~⑤
	像は圖柄によって分類し、近似する圖柄は①	釋迦三尊像①~②
	②③④のように番号を付して区別し、「圖像	淨土變相圖
	(圖柄)」「圖像(丁裏)」「圖像(備考」各欄	比丘童子像①~③
	に詳細を記した。	韋駄天像①~④
		釋迦説法圖①~②
		維摩詰經相
		釋迦像①~②
		釋迦比丘像
		釋迦三比丘像①~②
		阿難餓鬼像

圖像(所在)*	圖像の所在を記載した。	卷首表
		U0142 維摩詰所説經卷
		上卷首表裏
圖像(圖柄)*	圖像の圖柄の特徴を記載した。	釋迦は蓮華座に坐す
		釋迦は蓮華座に坐す.
		右比丘は胡麻髭、左比
		丘は剃髪
		童子は剃髪せず
		丁表・丁裏ともに釋迦,
		文殊, 阿難, 舍利弗,
		十方菩薩等を描く
圖像(丁裏)*	圖像の裏面に偈や序文などが印刷されている	丁裏に偈「皇圖鞏固
	場合に記載した。	帝道遐昌/佛日增輝
		灋輪常轉」あり (蓮牌木
		記)
		丁裏に序等あり
		丁裏に贊あり
圖像(備考)*	「圖像(所在)」「圖像(圖柄)」「圖像(丁裏)」以	版心下部白口
	外の、圖像にかかわる特記事項を記載した。	版心下部墨丁
		丁表の版心下部に「般
		若堂刻」、丁裏に施刻者
		「〈荊溪/襄楚〉釋〈雲
		素/微言〉捐貲敬鐫」あ
		り
印記*	各冊の巻首や巻尾に捺印された蔵書印を記載	「增上寺/報恩藏」印
	した。1 丁に同一の印が 2 箇所捺されている	「雅山/之章」印(2 ヶ)
	場合は「(2 ヶ)」と注記した。	「猶龍窟」
		「破書/顔圖」印
印記(備考)*	蔵書印の顛倒等特記事項を記載した。また中	「雅山/之章」印横轉
	国人の印記(印造者等の印と思われるものを	34 丁補鈔に「雅山/之
	含む)を記載した。	章」印あり
		9a「陶印」墨印
		30b「靖元」墨印
		13b「肇聖」墨印
		「蔣惟/華記」茶印